

# 福島第一原子力発電所における新技術「レーザー除染」によるフランジタンク解体作業の本格運用開始について

< 参 考 資 料 >  
2 0 1 9 年 8 月 2 8 日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第一廃炉推進カンパニー

フランジ型タンクの解体作業にあたっては、タンク内面に付着した放射性物質の飛散抑制を目的に、タンク内面に塗料を塗布したうえで解体作業を行ってまいりましたが、それに代わる工法として、タンク内面に付着した放射性物質そのものを取り除く新技術を活用した「レーザー技術工法」を7月から取り入れることとしました。（2019年7月1日お知らせ済み）

構内における試験施工を7月まで実施した後、次基タンク解体準備を行ってまいりましたがこの度準備が整ったことから、8月29日から本格運用を開始いたします。

なお、試験施工での結果をもとに算出した効果として、「タンク内面の表面線量が、塗装を塗布する工法と比較して7割程度減少」「その結果、タンク解体作業における被ばく線量が3割程度減少」などの効果を見込んでおります。

引き続き、ダストモニタでの放射性物質濃度を監視しながら、安全を最優先に作業を進めてまいります。



【試験照射の様子】



【遠隔制御室の様子】